

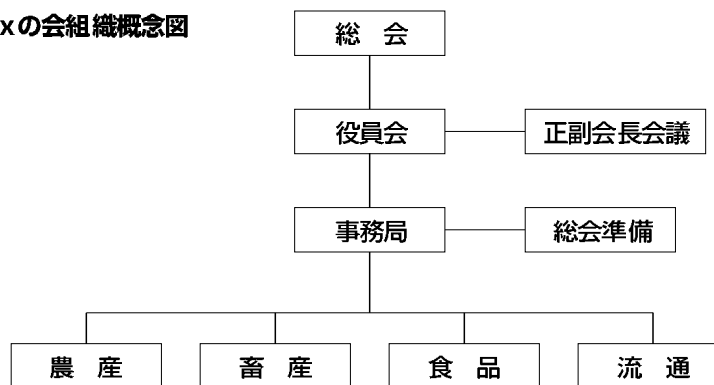
行ないます。そして第三部は農産水産畜産業を含めた第一次産業と、「食」とをめぐる社会情勢を踏まえて、これからの活動のあり方や方向性を模索する場として、らでいっしゅぼーや、Radixの会合同のフォーラムと位置付けることとしました。詳細については継続して総会準備委員会で詰めていくこととしました。

※規約の変更について：現行の規約で、規約の変更は役員会で特別会員幹事の承認をもって行なうことができることとなっています。今回の役員会では、幹事の人数上限を13名から15名としたこと、役員を選任は特別会員幹事だけでなく、幹事の推薦を必要とするなど、何点かの規約変更が行なわれました。

生産者幹事役員構成

現在 (~2002.2)	次期枠組 (案) (2002.3~)
農産：4 信末清・斉藤公雄・蓬臺雅吾・右田秀利	農産：6 北海道・東北・関東・中部・関西・九州
畜産：2 武田昭彦・高橋祐之	畜産：3 牛・豚・鶏
水産：1 竹並一人	水産：2
加工：1 五月女盛一	加工：3
	エコ：1
計 8	計 15

Radixの会組織概念図



信末会長、ありがとうございました

約20名の生産者を擁する栃木太陽の会では、らでいっしゅぼーや(株)との取引上の様々な課題に直面しており、信末さんは8月の役員会より辞任の意向を表明していました。この意向はらでいっしゅぼーや(株)との取引の断念を前提とした真剣なもので、これを解決すべくRadixの会副会長・後藤氏(らでいっしゅぼーや(株)商品部長)、事務局長の竹内を含め、再三の調整を進めてきましたができませんでした。これを受け今回の役員会の開催前、生産者・メーカーの役員の皆様から、信末さんならびにらでいっしゅぼーやに対して、非公式としたうえで栃木太陽の会とらでいっしゅぼーや(株)との取引継続の強い要望が出され、信末氏は、栃木太陽の会の会務に専念することとしてRadix会長職を辞し、取引についての調整を継

続する旨が確認されました。

Radixの会での信末氏の功績は計り知れないものがありました。歯に衣着せない本音の議論で、行く先々の生産者に喝を飛ばし、自らは一生産者としてすばらしい堆肥作りの技術を惜しげもなく、東西の生産者に披瀝してくださいました。なんとと言ってもあの笑顔、パートナーの八重子さん共々、バイタリティあふれる活動の軌跡は、らでいっしゅぼーやで開催された数々の交流会や元氣市でも、余すことなく発揮され、全国に信末ファンのいかに多いことでしょう。

信末氏の会長辞任は事務局のみならず役員一同が遺憾とするところです。しかしRadixの会というものがらでいっしゅぼーや(株)との取引関係先により組織する前提をもち、この意味でらでいっしゅぼーや(株)との正常な関係性

の元はじめて機能するという性格に照らし、信末氏の辞任は遺憾ながらも受容せざるを得なかったというのが、役員の皆様的心情であったと思われます。今後の信末さんは、今一度生産者としての地力を養うと共に、よりすばらしい有機農業を築き上げるために、そしてより多くの消費者が感動する野菜を作るために、その道をまい進されることと思います。

栃木太陽の会とらでいっしゅぼーや(株)との課題については、お取引上のこととて誌面で詳らかとしないこと、お許しいただきたいと思ひます。しかし互いが互いを信頼し、その信を問い、真剣な議論の元導き出された最善の結果であったことだけは、この場をお借りしお約束させていただきます。

信末さん、本当にありがとうございました。(竹内)